

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.146

2017. 12. 4

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

私たちの平和への願い・誓い ～戦争や戦争につながる事を 私たちの手で断とう！～

1941年（昭和16年）12月8日、日本軍の真珠湾攻撃で3年6か月に及ぶ太平洋戦争が勃発しました。この12月は、戦争、敗戦の教訓を改めて噛みしめる時です。今年も、これからを担う若い世代が、全国で行われている平和関連の企画や集会に参加しています。平和への思いを新たにしたい若者たちのメッセージを紹介します。

「平和」とは何か、考えることから始めよう -9/4~7 「Peace Now! 沖縄」に参加ー 岩手大学生協学生委員 佐藤沙彩さん・川村育美さん（1年）

「Peace Now!」は、広島、長崎、沖縄の各3か所、フィールドワークや戦争体験者の講話、現在世界で抱える問題を通して戦争や平和について学び、学生同士が「平和」というテーマで深く話し合い交流する企画です。参加は、広島（8/5~8）・長崎（8/8~11）が60名、沖縄が80名（9/4~7）でした。



4日間のセミナーで、資料やフィールドワークから沖縄戦を多面的視点で学ぶことができましたが、これまでの自分たちの「平和」への意識の低さに気づかされました。特に印象的だったのは、アブチラガマ。沖縄戦当時、ガマで負傷者の治療が行われていたということですが、その状況が想像できないほど足場が悪く暗い空間でした。

その後、当時白梅学徒隊として沖縄戦を経験した方の証言を聞きました。当時、私よりずっと幼かった学生たちが、どれだけ不安な思いで過ごしていたか。そう考えると、戦争に対するやるせなさを感じました。また、平和祈念公園の「平和の礎」には、沖縄戦の戦没者の名前が敵味方関係なく刻まれており、沖縄の平和に対する強い想いを実感しました。

今後は、この4日間で感じたこと・考えたことを忘れず、まずは私自身が「平和とは何か」考えることから平和の実現に貢献したいと思っています。

《裏面につづく》

ご参加
ください

9条を変え、戦争する国になるのはゴメン！3,000万署名運動を成功させよう！
安倍9条改憲NO！全国市民アクション岩手（仮称）結成会

結成記念口演 全国で話題沸騰！「八法亭みややっこの憲法噺」

12月10日(日)13:30~16:00

「サンビル7階ホール」

内容/13:30~結成会、3000万署名行動提起など。

14:10~八法亭みややっこ口演（弁護士・飯田美弥子さん）

※終了後、デモ行進あり。

参加無料



《表面のつづき》

私たちの平和への願い・誓い

～戦争や戦争につながる事を私たちの手で断とう！～



3,000万署名をはじめ、できることから

- 10/28~29

「日本平和大会in岩国」に参加ー

岩手県平和委員会 佐々木 明子さん

1日目の開会集会では各地・各分野での運動交流の報告、2日目は「沖縄と連携し岩国基地をはじめ米軍基地強化を許すな」の分科会に参加してきました。

来年2月の名護市長選挙に向けて翁長知事とともに新基地撤回を後押しし、沖縄建白書の要求項目にある米軍、普天間基地を閉鎖、撤去し県内移設を断念すること！オスプレイ配備を直ちに撤回！！など、全国でも共通の目標であると思います。

3,000万署名をはじめ、できることから取り組み、平和を守るひとりとして歩いていきたいと強く思った2日間でした。



＝ トランプ大統領アジア歴訪に対しても、「対話による平和・外交解決」が示される！

11月6日の日米に始まり、米韓、米中と、トランプ米大統領による関係国との首脳会談が続きました。ベトナムでのAPEC会議、フィリピンでのASEAN会議出席はキャンセルし帰国。いずれも“北朝鮮問題”への対応が注目されていたが、何とも人騒がせな“米国第一”、迷惑な“外交”ではなかったか。

東京での日米首脳会談では、日本国民の訪日反対集会でも嫌ったのか、日本政府の入国管理の効かない米軍の横田基地に到着、同基地から日本国内へ移動、同基地から韓国へ出国、裏口から入国し裏口から出国、外交儀礼として無礼の極み。安倍首相はトランプ大統領の「すべての選択肢はテーブルの上にある」を全面支持し、「対話否定」と「圧力一辺倒」を主張、加えて米製武器購入の承諾などするのみ。国民にとっては改めて呆れたものであり、北東アジアの緊張を高め、戦争の危機を高めるものではなかったでしょうか。

米韓首脳会談では米韓同盟の圧力を受けながらも、文在寅政権は“朝鮮半島に再び戦争を起こしてならない”と、必死に「対話による平和解決」を主張し、奮闘。韓国民は大統領府から約200メートルのところまで“トランプ訪韓反対”の大集会。米中首脳会談では、予想通り習近平国家主席が会談でも共同記者会見でも「安保理決議」（経済制裁、対話・外交交渉、「軍事圧力」は「決議」になし）の完全履行を主張、2,500万ドル（約28兆円）の商談、加えて破格の歓迎“もてなし”。日本の報道番組でキャスターは“トランプ大統領は中国のもてなしにフラフラ！”と説明。

ベトナムでのAPEC会議で予想された米口首脳会談は、米側のドタキャンで不実現。同行のロシア・ラブロフ外相は「会談不実現」を記者から問われ、“それはアメリカ人に聞け！”と不機嫌。中国に引き続きプーチン大統領からまで「対話による平和解決」を主張されるのを嫌ったか。フィリピンでのASEAN関連首脳会合では、トランプ大統領不在の中、安倍首相は「対話否定、（軍事）圧力一辺倒」を繰り返す「孤立ぶり」。APECもASEANも日米に“配慮”を見せながらも、「対話による平和解決」「中国とも対話」と、声色は違っても“合唱”。加えて先ごろ日本の財界が北京訪問で、李克強首相との会談で「一帯一路経済」への協力・協調することで合意。

安倍政権では日本はアジアの一員にはなれないと思う。コラム子ひとりの思いでしょうか。(T)

12月の署名活動

8日（金） 12:30～13:00 「盛岡市大通野村證券前」

「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」を行います。平和憲法・9条をまもる岩手の会各組織・団体でも署名運動に取り組みましょう！